

# 平成31年1月 東京地区百貨店売上高概況

平成31年2月21日

## I. 概況

1. 売上高総額	1,328億円余
2. 前年同月比	-2.9% (2か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-3.5%(92.0%) : 非店頭4.9%(8.0%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成30年12月対比±0店)
5. 総店舗面積	839,179㎡ (前年同月比:-0.7%)
6. 総従業員数	17,698人 (前年同月比:-1.4%)
7. 3か月移動平均値	6-8月 1.1%、7-9月 -1.2%、8-10月 1.5%、 9-11月 1.0%、10-12月 0.3%、11-1月 -1.2%

[参考] 平成30年1月の売上高増減率は-0.2%

### 【特徴】

- (1) 1月の東京地区入店客数は、人気催事やカード会員施策、一部店舗の改装効果による客数増もあり0.9%増と15か月連続でプラスした。半面、売上高については、景気の先行き懸念による消費意欲低下、月前半のセール不振、免税品規制強化によるインバウンドの苦戦などマイナス与件が重なり、2.9%減と2か月連続マイナスとなった。
- (2) 衣料品は、暖冬の影響でジャケットやブラウスなど中・軽衣料が堅調で、春物にも一部動きが見られたものの、コートなどの重衣料や防寒アイテムは不調だった。身のまわり品はラグジュアリーブランドのバッグは好調だったが、靴については、この時期主力のブーツを中心に紳士・婦人共に動きが鈍くマイナスに転じた。
- (3) 雑貨は26か月ぶりにマイナスした。化粧品は国内顧客中心に好調で46か月連続増、その他雑貨は法人需要などもあり14か月連続プラスとなったが、高額品については株価の軟調さから逆資産効果も一部に見られ、宝飾品や高級時計などが苦戦した。
- (4) 食料品は、年賀ギフトとしても人気の高い菓子が5か月連続でプラス。物産展やその他食品催事も好調で売上と集客に寄与したが、トータルでは前年実績には届かず6か月ぶりのマイナスとなった。なお、月末のバレンタイン商戦は自家需要も伸長しており、堅調な滑り出しを見せている。
- (5) 2月中間段階の商況は、0.6%減(2/18)で推移している。

### 【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比 +0.2日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)  
①増加した: 3店、②変化なし: 9店、③減少した: 7店
- (3) 1月歳時記(初売り、クリアランス)の売上(同上/有効回答数14店舗)  
①増加した: 1店、②変化なし: 5店、③減少した: 8店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2019年1月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
<b>総 額</b>	<b>132,893,951</b>	<b>100.0</b>	<b>-2.9</b>
紳士服・洋品	12,611,957	9.5	-4.3
婦人服・洋品	27,454,549	20.7	-4.2
子供服・洋品	2,354,136	1.8	-6.7
その他衣料品	2,668,667	2.0	3.6
<b>衣 料 品</b>	<b>45,089,309</b>	<b>33.9</b>	<b>-3.9</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>20,025,936</b>	<b>15.1</b>	<b>-3.6</b>
化粧品	13,186,677	9.9	1.9
美術・宝飾・貴金属	7,290,311	5.5	-10.7
その他雑貨	6,098,707	4.6	3.6
<b>雑 貨</b>	<b>26,575,695</b>	<b>20.0</b>	<b>-1.5</b>
家具	1,340,558	1.0	-1.6
家電	584,466	0.4	-18.2
その他家庭用品	3,449,540	2.6	-4.7
<b>家 庭 用 品</b>	<b>5,374,564</b>	<b>4.0</b>	<b>-5.6</b>
生 鮮 食 品	3,905,063	2.9	-5.2
菓 子	8,103,129	6.1	1.3
惣 菜	6,266,448	4.7	-1.2
その他食料品	9,636,590	7.3	-1.8
<b>食 料 品</b>	<b>27,911,230</b>	<b>21.0</b>	<b>-1.3</b>
<b>食 堂 喫 茶</b>	<b>2,716,006</b>	<b>2.0</b>	<b>-6.6</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>1,357,062</b>	<b>1.0</b>	<b>-26.3</b>
<b>そ の 他</b>	<b>3,844,149</b>	<b>2.9</b>	<b>12.3</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商品券	1,666,533 千円	-2.2
従業員数	17,698 人	-1.4
店舗面積	839,179 m <sup>2</sup>	-0.7
営業日数	30.0 日	前年 29.8 日

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、27か月ぶりに全品目がマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が46か月連続、その他雑貨が14か月連続、菓子が5か月連続、その他衣料品が2か月ぶりのプラスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>-2.9</b>	<b>-</b>	<b>2か月連続マイナス</b>
紳士服・洋品	-4.3	-0.4	4か月連続マイナス
婦人服・洋品	-4.2	-0.9	2か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-6.7	-0.1	4か月連続マイナス
その他衣料品	3.6	0.1	2か月ぶりプラス
<b>衣料品</b>	<b>-3.9</b>	<b>-1.3</b>	<b>3か月連続マイナス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>-3.6</b>	<b>-0.5</b>	<b>4か月ぶりマイナス</b>
化粧品	1.9	0.2	46か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-10.7	-0.6	2か月連続マイナス*
その他雑貨	3.6	0.2	14か月連続プラス*
<b>雑貨</b>	<b>-1.5</b>	<b>-0.3</b>	<b>26か月ぶりマイナス</b>
家具	-1.6	-0.0	2か月連続マイナス
家電	-18.2	-0.1	5か月連続マイナス
その他家庭用品	-4.7	-0.1	7か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	<b>-5.6</b>	<b>-0.2</b>	<b>5か月連続マイナス</b>
生鮮食品	-5.2	-0.2	4か月連続マイナス*
菓子	1.3	0.1	5か月連続プラス*
惣菜	-1.2	-0.1	2か月ぶりマイナス*
その他食料品	-1.8	-0.1	6か月ぶりマイナス*
<b>食料品</b>	<b>-1.3</b>	<b>-0.3</b>	<b>6か月ぶりマイナス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>-6.6</b>	<b>-0.1</b>	<b>5か月連続マイナス</b>
<b>サービス</b>	<b>-26.3</b>	<b>-0.4</b>	<b>4か月ぶりマイナス</b>
<b>その他</b>	<b>12.3</b>	<b>0.3</b>	<b>4か月ぶりプラス</b>
<b>商品券</b>	<b>-2.2</b>	<b>-0.0</b>	<b>4か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>